

2008年6月2日

大規模計算シミュレーションサービス研究会 設立趣意書
Large Scale Computational Simulation Service Society

東京大学情報基盤センター
センター長 米澤 明憲

工学系研究者、産業界における大規模計算シミュレーションに対する期待が高まっている一方で、その利用が進まず、また、企業におけるスパコン導入の動きは必ずしも旺盛ではありません。一つには、大規模計算シミュレーションといっても、PC レベルでの小規模計算シミュレーションを大量に処理したいというユーザが多いということ。また、小規模計算シミュレーションを行っているユーザが、大規模計算シミュレーションを行うような機会がないために、費用対効果を検討できない、ということもあげられます。さらに、話題だけが先行していますが、多くの現場では、計算シミュレーションの方法論が浸透していないということもあります。

このよう背景の下、工学系研究者や産業界に対して大規模計算シミュレーションを支援する体制が望まれています。大規模計算シミュレーションの支援では、単なるスパコンの時間貸しではなく、シミュレーションプログラム、スパコン資源、ユーザ支援の三身一体でのサービスが重要です。これは、ビジネス界で既に取り組みされている ASP(Application Service Provider) や SaaS(Software as a Service) のようなサービス形態を大規模計算シミュレーション分野に適応するものであります。

大規模計算シミュレーション分野において、シミュレーションプログラム、スパコン資源、ユーザ支援の三身一体でのサービスをどのように構築していけば良いのかは自明ではありません。そこで、本格的な大規模計算シミュレーション時代に向けての一助になるべく、アプリケーションサービス提供者、計算機資源提供者、利用者間の意見/情報交換の場として、

大規模計算シミュレーションサービス研究会

を発足します。

本研究会は、アプリケーションサービス提供者、計算機資源提供者、利用者から構成され、会費は無料とします。研究会メンバは、それぞれの立場で、積極的に本研究会が開催する会合に参加して意見交換されることが期待されます。本研究会は、ワークショップを年数回開催すると共に、メーリングリスト上での情報交換を行います。皆様の御参加をお待ちしております。

お問い合わせ先： asp-info@cc.u-tokyo.ac.jp